

## 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2 -	健康づくりを推進する	健康・こども部、教育総務部、 学校教育部、市民病院					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単 位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
がん検診の受診率	%	16.1	14.9	16.1			18.0
特定健康診査（こくほ特定健診）の受診率	%	34.2	32.6	33.6 【速報値】			42.0
関連事業							
健康増進事業 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 新型コロナウイルスワクチン接種事業 特定健診・特定保健指導事業 データ分析に基づいた健康政策事業 高度医療器械等整備事業 災害時医療提供推進事業 救命救急センター運用事業 食に関する指導事業 学校給食地場産野菜等使用推進事業							
決算額							
		2年度	3年度	4年度	5年度		
事業費(千円)		773,357	2,454,210				
執行率(%)		92.97	96.42				

「救命救急センター運用事業」の事業費については、当該事業に係る事業費のみを抽出できないため、事業費と執行率には含まれていません。

### 施策の推進に向けた主な取組の「成果」

#### 「各種検診と生活習慣病予防等の教室の実施」

がん検診、肝炎ウイルス検診、成人歯科健診を含む成人検診（健診）、生活習慣病予防に関する教室（未病改善教室を含む）を実施するほか、内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査及び特定保健指導を実施することで、病気や生活習慣病の早期発見・早期治療や生活習慣の改善を図りました。

#### 「正しい健康情報の発信と市民の健康に対する意識啓発」

市ホームページに、新型コロナウイルス感染症に関する感染予防対策や感染状況、支援体制等の情報を掲載し、感染予防に対する意識の啓発を図りました。

#### 「食に関する教育活動の推進」

各学校において食に関する児童の年間計画を作成し、食教育推進担当教員や栄養教諭及

び学校栄養士等が連携して、食に関する指導を小学校では1,975回、中学校では254回行いました。これにより児童・生徒一人一人が正しい食事のあり方や望ましい食習慣の習得につながりました。

「学校給食地場産野菜等使用推進事業」

給食食材については地場産野菜を使用するように努め、年間で使用した野菜全59品目中21品目で地場産野菜を使用又は一部使用し、品目ベースでは35.6%、重量ベースでは19.0%の使用実績となりました。また、野菜以外の地場産品については、さば、シュモクザメ、しらす、釜揚げしらす、シイラ、ゆでカオリ麺、小松菜トマトパン、カオリ小麦パンを使用しました。

「地域医療体制の充実」

市民病院では、計画的に高度医療器械を導入するとともに、コロナ感染症対策医療機器を積極的に整備したことで、患者に良質な医療の提供が継続できました。また、災害時に病院機能を発揮できるよう大規模地震を想定した災害対応医療訓練を実施しました。救命救急センターにおいては、救急搬送が必要な患者を積極的に受け入れ、「断らない救急」を実践しました。

「新型コロナワクチン接種の実施」

接種券の封入封緘業務やコールセンター業務など、市民の皆様が安心して接種を受けるための体制づくりを構築しました。また、医療機関と集団接種会場等でワクチン接種を実施し、感染予防や重症化予防の効果を高めました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>「各種検診と生活習慣病予防等の教室の実施」 健診受診率の向上を図る必要があります。</p> <p>がん集団検診の申込み方法や開催日程の見直しにより効率的な運営を検討していく必要があります。</p> <p>生活習慣を改善し、生活習慣病発症予防を推進する必要があります。</p> <p>「正しい健康情報の発信と市民の健康に対する意識啓発」 正しい健康情報の発信と平塚市の健康状態の把握（見える化）を推進し、市民の健</p>	<p>「各種検診と生活習慣病予防等の教室の実施」 健診の受診者を増やすため、未受診者への受診勧奨を工夫して実施します。</p> <p>がん集団検診の申込みについて、はがきや窓口だけでなく、Web予約も検討していきます。</p> <p>平塚市の健康課題に基づいた生活習慣病の予防教室や未病改善教室を実施します。</p> <p>「正しい健康情報の発信と市民の健康に対する意識啓発」 健康に対する意識啓発を図るため、国保データベースシステム等のデータ分析から</p>

<p>康に関する意識の啓発を図る必要があります。</p> <p>「食に関する教育活動の推進」 現在の指導精度を今後も維持できるよう栄養士研修会等の充実が必要です。</p> <p>「学校給食地場産野菜等使用推進事業」 天候や作柄に左右されやすいため、量の確保が必要です。</p> <p>「地域医療体制の充実」 先進の医療水準を確保するため、高度医療機器等の整備と、災害時に拠点病院としての機能を発揮するため、実践的な訓練が必要です。また、救急搬送が必要な患者を積極的に受け入れ、「断らない救急」を継続する必要があります。</p> <p>「新型コロナワクチン接種の実施」 迅速にワクチン接種を進めるためには、民間の協力及びノウハウを活用しながら、接種体制を構築することが必要です。</p>	<p>得られた平塚市の健康課題や正しい健康情報について、市民に分かりやすく発信していきます。</p> <p>「食に関する教育活動の推進」 今後も栄養士研修会を毎月開催します。</p> <p>「学校給食地場産野菜等使用推進事業」 今後も、地場産品を使用できるよう努めます。</p> <p>「地域医療体制の充実」 経営状況や医業収益とのバランスを考慮し、高度医療機器等の整備と、被災状況に応じた実践的な訓練を検討します。また、救急搬送が必要な患者を積極的に受け入れ、「断らない救急」を実践します。</p> <p>「新型コロナワクチン接種の実施」 国の方針に従い、ワクチン接種を進めていきます。</p>
--	--